

してもらえるか」ということを考え、工夫しながら一生懸命準備を行う。学習会後は、六年生がリーダーとなって、班の子どもたちで室内遊びを楽しんでいる。

【児童の感想】

・「五事を正す」の「貌、言、視、聴、思」を一年生から五年生までに説明するのが難しかったけど、先生や友達がいっしょに考えてくれたから教えることができたのかなと思いました。

・藤樹学習は動画を何回も繰り返し撮って作成したし、文章の構成も何回も考えて作りました。一年生でもわかるような文にし、聞いているみんなは頷いてくれたり、クイズにしっかり答えてくれたりしてとても嬉しかったです。

【第二部】「藤樹学習」

地域の方を講師にお迎えし、学年（学年部）ごとに藤樹先生に関する講話や地域の史跡についての講話をしていただく。子どもたちは藤樹先生の教えや藤樹先生ゆかりの場所について、詳しく学ぶことができた。



6年生 藤樹先生から学ぶ
「人としての生き方」

【第三部】「藤樹かるた」

今年度は、体育館に全校児童が一堂に会して、色別対抗で藤樹かるたを実施。保護者の方にも参観していただいた。このかるたは高島藤樹会・藤樹書院が作成されているもので、楽しく遊びながら藤樹先生の学徳や求道の生涯の一端にふれることができる。かるたのルール説明や進行などは五年生が担当し、協力しながらスムーズに運営できている。

【児童の感想】

・五年生がよんだみたいになまくかるたをよめるようになってみたいです。とうじゅ先生についていっぱいべんきょうできてうれしかったです。

・藤樹かるたは、一年生から六年生まで六年間やってきてかるたの札を覚えたり、読み手の言葉が覚えられたりして楽しかったです。



藤樹かるたを楽しむ子どもたち
(R5 藤樹デーにて)

二・大洲小学校との姉妹校交歓会

中江藤樹先生ゆかりの地である青柳小学校と愛媛県大洲小学校の児童が、お互いの地域や学校生活について情報交換をして、両姉妹校のつながりと友情を深め合う行事として続いている。

【これまでの経過】

①一九五一年（昭和二十六年）
中江藤樹先生が十歳から二十七歳まで過ごされ、勉学に励まれた愛媛県大洲市立にある大洲小学校と姉妹校となる。

②一九七〇年（昭和四十五年）
五・六年生による大洲小学校との電話交歓会が始まる。

③二〇二〇年（令和二年）から
テレビ会議システムZOOMによる交歓会となり、両校四年生同士の交流となつていく。一年交代で当番校が準備をし、本番では当番校児童が司会進行を務める。

【今年度の取組】

二〇二三年（令和五年）
十一月十日（金）

五十五回目の姉妹校交歓会を実施。青柳小学校児童は、高島市の観光スポットや地場産業、青柳小学校の様子について画像やクイズなどを交えながら紹介。大洲小学校児童からは、自然豊かな大洲市の町の様子



画面越しに話しかけている様子